

仏弟子として生きるために

令和四年九月三十日 加茂法話会

安龍寺 斎藤隆光

「安名」

また取名ともいう。新たに受戒した者に法名をつけること。主として禅宗で用いる。

「法名」

① 経典の名称。② ダルマという術語。

③ また法号。法の名字の意。出家受戒の時、俗名を改めて授けられる法の名字をいう。また後世では死亡後、剃髪して法名をつける風習が行われたが、もと生前に授けられたものである。

「戒名」

① 三帰戒を受けて仏門に入った者につけられる名。

② 死後に師からつけられる法名。現今では、通常死者に対して師僧から与えられる名と解しているが、もとは生前に授けられた。

③ 真宗では授戒の作法がないから、法名とか決号と名づけて、戒名とはいわなのが正式である。しかし真宗信徒の間でも一般には戒名という。

『仏教語大辞典』

## 十六条戒

・三帰戒 仏・法・僧の三宝に帰依

・三聚浄戒 摂律儀戒、摂善法戒、摂衆生戒

・十重禁戒 第一不殺生戒 あらゆる生命を大切にすると共に、犠牲となる命に感謝を捧げる。

第二不偷盜戒 盗みはもちろん、公共の物を私用しないことも大事です。

第三不邪淫戒 愛ある男女関係を保って、平和な家庭を築く。

第四不妄語戒 嘘をついたり、騙したりしない。

第五不酤酒戒 酒に代表される理性を狂わす麻薬類に溺れない。

第六不説過戒 人に多くを求めるより自らを戒めましょう。

第七不自讃毀佗戒 自慢や他人の悪口はとみに言わないことです。

第八不慳法財戒 何もかも自分のものとしなない。

第九不瞋恚戒 怒りや恨み、妬みは自分を駄目にします。

第十不謗三宝戒 仏・法・僧の三つの宝は何物にもかえがたいものです。

『仏弟子となる教え』